

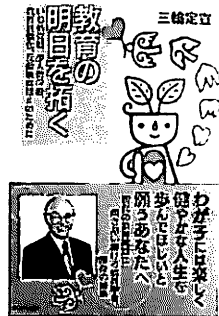
## 図書紹介

### 『教育を拓く』

三輪定宣著 かもがわ出版

1400円＋税

三輪定宣著



教育学者の三輪さんが今年2月に新しい本を出版された。

『教育を拓く』と題された本にはそのサブタイトルとして「いじめ克服、少人数学級、教育無償化、反動教育阻止のために」と記されている。

いずれのテーマも今日の極めて切迫した国民的教育課題である。三輪さんがこれらの教育課題に対して、そのつど発言し、行動し、市民とともに考え、問題提起してきた論文を集めた論集である。こ

のなかには当研究所の『にいがたの教育情報』（75号）に掲載された論文も収録されている。

目次は以下の通り。

- 第一章 いじめ問題とその克服
- 第二章 少人数学級の実現
- 第三章 無償教育と奨学金制度
- 第四章 教育基本法改定と教育条理を生かす教育実践
- 第五章 自治体の教育政策と教育の未来

第一章のいじめ問題では、いじめアンケートの分析を通して同問

題に取りくむ示唆に富む視点が示されている。高校生や大学生ではいじめ問題の解決は無理という意見が多く、保護者では「社会のあり方を考え、変える」とする意見が多いという。それに対して子どもたちはいじめに苦しみながらも解決に前向きで、友だちと協力して自主的に解決しようとする意欲が多く見られるという。

そこから三輪さんは子どもへの深い信頼にこそ解決の基礎があると指摘しています。文科省等の上からの指示的な政策が多いなかで、大事な視点了かと思えます。

専門家だけでなく、市民や父母など幅広い人たちが手元に置いて読んでもらいたいハンディーな教育書です。

（大滝浩道）